

科目名	PC活用 5						年度	2026	
英語科目名	PC Application 5						学期	前期	
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 スポーツビジネスコース 3年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	演習
担当教員	安本和則	教員の実務経験		有	実務経験の職種		システムエンジニア		
【科目の目的】 コンピュータ・メディアを利用したコミュニケーションが及ぼす社会的、心理的影響について検討し、新たなニーズを開拓していくためのビジネスソリューションを発展させていきます。									
【科目の概要】 PCを活用した実践的な授業を行います。各回ごとに実在する企業のIR情報や様々なデータベースを用いながらデータの収集・加工・分析を行います。データ分析を行うことでその背後にある市場動向や企業の経営戦略の評価を行い、経営戦略の策定や具体的な改善策について議論を進めます。									
【到達目標】 到達目標 A: ビジネスデータ分析の基本であるExcel関数の機能と活用方法について理解する。 到達目標 B: 代表的なデータ分析方法である「ABC分析」や「Zチャート」を利用し、重点管理項目や売上傾向の推移予測が出来る。 到達目標 C: その他、ゴールシークやレーダーチャート等の操作方法を学び、業務効率化やプレゼンテーションが出来る。									
【授業の注意点】 PCを利用した授業となりますので、各授業内で作成したデータの保存・管理に十分注意してください。また、関連教材については全て配布資料にて行いますので、配布資料の紛失等がないよう資料管理をしてください。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	状況に応じたデータ分析方法を適切に選択し、効果的な分析に基づいた問題解決の提案が出来る。		ビジネスデータ分析に必要なExcel関数の機能が活用できる。		到達目標の達成度として不十分				
到達目標 B	ビジネスデータ分析に基づいて、重点管理項目や売上傾向の推移予測が出来る。		ABC分析やZチャートを活用したビジネスデータ分析が出来る。		到達目標の達成度として不十分				
到達目標 C	ゴールシークやレーダーチャートを活用した分析結果に基づいて、業務改善に向けたプレゼンテーションが出来る。		ゴールシークやレーダーチャートを活用したビジネスデータ分析が出来る。		到達目標の達成度として不十分				
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 授業に必要な教材資料等については教員にて準備・配布する。参考書等を使用する場合には授業内にて指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 成績評価については、筆記もしくはレポートによる試験結果（中間/期末/定期的な提出物など）30%、授業中の参加姿勢/学習意欲（リーダーシップ、積極性、学習に対する向上努力など）30%、出席状況40%とし、授業内における達成度・到達度を総合的に判断して行う。なお、成績評価を受けるためには、全授業の75%以上の出席が必要となる。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		PC活用 5			年度	2026
英語表記		PC Application 5			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	イントロダクション	ビジネスデータ分析の基本とExcelの基本操作の確認	1 データ分析のポイント①	解決すべき問題の明確化と目標設定の理解	2	
			2 データ分析のポイント②	分析に必要なデータ収集方法の理解		
			3 データ分析のポイント③	分析目的の適した分析手法の選択の理解		
2	データ収集	e-Statを使用した統計データ検索と収集	1 データ収集①	目的に合ったデータの選定	2	
			2 データ収集②	データの収集方法（種類、頻度、規模など）の理解		
			3 データ収集③	データの一貫性、正確性、完全性に関する理解		
3	パレート図	パレート図の作成	1 機能活用練習①	作成に必要なデータ収集と前処理	2	
			2 機能活用練習②	パレート図の作成		
			3 機能活用練習③	パレート図の結果分析		
4	パレート図	様々なデータを用いたパレート図の作成とABC分析	1 機能活用練習①	作成に必要なデータ収集と前処理	2	
			2 機能活用練習②	パレート図の作成		
			3 機能活用練習③	パレート図の結果分析		
5	Zチャート	Zチャートに基づく売上トレンドの分析	1 機能活用練習①	作成に必要なデータ収集と前処理	2	
			2 機能活用練習②	Zチャートの作成		
			3 機能活用練習③	Zチャートの結果分析		
6	Zチャート	様々なデータを用いたZチャートの作成と売上トレンド予測	1 機能活用練習①	作成に必要なデータ収集と前処理	2	
			2 機能活用練習②	Zチャートの作成		
			3 機能活用練習③	Zチャートの結果分析		
7	ゴールシーク	ゴールシーク機能の操作練習	1 機能活用練習①	作成に必要なデータ収集と前処理	2	
			2 機能活用練習②	ゴールシークの作成		
			3 機能活用練習③	ゴールシークの結果分析		
8	ゴールシーク	ゴールシーク機能を用いた具体的なデータ処理	1 機能活用練習①	作成に必要なデータ収集と前処理	2	
			2 機能活用練習②	ゴールシークの作成		
			3 機能活用練習③	ゴールシークの結果分析		
9	バブルチャート	バブルチャート機能の操作練習	1 機能活用練習①	作成に必要なデータ収集と前処理	2	
			2 機能活用練習②	バブルチャートの作成		
			3 機能活用練習③	バブルチャートの結果分析		
10	バブルチャート	バブルチャート機能を用いた具体的なデータ処理	1 機能活用練習①	作成に必要なデータ収集と前処理	2	
			2 機能活用練習②	バブルチャートの作成		
			3 機能活用練習③	バブルチャートの結果分析		
11	レーダーチャート	レーダーチャート機能の操作練習	1 機能活用練習①	作成に必要なデータ収集と前処理	2	
			2 機能活用練習②	レーダーチャートの作成		
			3 機能活用練習③	レーダーチャートの結果分析		
12	レーダーチャート	レーダーチャート機能を用いた具体的なデータ処理	1 機能活用練習①	作成に必要なデータ収集と前処理	2	
			2 機能活用練習②	レーダーチャートの作成		
			3 機能活用練習③	レーダーチャートの結果分析		
13	データ分析応用	様々な状況に応じたデータ分析方法の活用練習	1 データ収集①	政府統計などを活用したデータ収集と前処理	2	
			2 データ処理②	目的に応じたデータ分析図の作成		
			3 データ分析③	分析結果の問題解決策の提案		
14	データ分析応用	様々な状況に応じたデータ分析方法の活用練習	1 データ収集①	政府統計などを活用したデータ収集と前処理	2	
			2 データ処理②	目的に応じたデータ分析図の作成		
			3 データ分析③	分析結果の問題解決策の提案		
15	データ分析応用	様々な状況に応じたデータ分析方法の活用練習	1 データ収集①	政府統計などを活用したデータ収集と前処理	2	
			2 データ処理②	目的に応じたデータ分析図の作成		
			3 データ分析③	分析結果の問題解決策の提案		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等